

私どもは健全な経営により、将来にわたって安定して医療提供ができるよう目指します。

そのために得意分野に絞った病院の運営、中でも透析、眼科、在宅医療を城西病院の柱にしたいと考えております。

2012年6月オープンの新病院では、これら診療科の他に整形外科やリハビリテーション科なども整備してまいります。

現在は新病棟に向けた工事の最中ですが、完成後は120の入院病床を備えた「医療療養型」中心の病院として、主に長期入院でご利用いただけるよう準備しております。

一方、透析ですが、今年7月22日から10床の透析室を稼働させており、8月22日現在6名の患者様の入院透析を担当させていただいております。

スタッフはベテランぞろいで、透析液の基礎となる水質の良さは、偕行会の他施設と同様、ウルトラピュアの基準を満たす良質な透析を提供しています。

皆様には、万一長期入院が必要となりましても、偕行会セントラルクリニック、もしくは城西病院のいずれかで治療を継続していただくことができますので、どうかご安心いただきたいと思います。

また城西病院では眼科の拠点病院を目指しています。

既に共立眼科クリニックに着任された長木先生を中心に、城西病院及びグループ内他施設への眼科の展開を一元的に責任を持ちたいと考えております。手術室はもちろん、麻酔科の手配も行い、皆様のご期待に沿うべく努力してまいります。既に角膜移植認定施設としても登録されており、透析患者の眼合併症については、わが国でも屈指の医療施設となる予定です。

一方、高齢人口が多いという地域のニーズに応える必要もあります。

城西病院は、許可病床数120と市立病院時代の305床から大幅に減少してしまいました。このため総合病院としての機能を果たすことはできません。

しかし、地域のニーズに絞った「高齢者医療」を提供してまいります。入院病床数の減少に対しては、在宅医療を提供していく考えです。